

Équipe Nishigawa 通信 N°126



1 September 2023

「エキップ西川」の歩み

2023年は下石井公園の芝生化により下田町公園にホームグラウンドが変更の年となった。月曜日と木曜日の活動時間や場所も全て午前の下田町公園とした。加えて土曜日午前の弓之町公園デモンストラシオンも毎週の活動とした。12年かけて（月）（木）（土）午前の定例練習が出来るようになったことは感慨深い。下石井公園を中心に行って来たペタンク練習活動を振り返っておきたい。

出石小学校閉校の後の整備で、下石井公園拡張やアイプラザ建設が行われた。アイプラザに事務室の入った「岡山市スポーツ文化振興財団」が、講師・世話役スタッフ更に障害保険も用意して、下石井公園でペタンク普及活動を「ペタンクのつどい」の名で月2回行うことをスタートした。2009年7月のことである。その「つどい」参加有志が呼びかけ、2010年10月21日より、第1第3第5木曜日1時から自主練習を開始した。その中でチームを組み総社サントピアなどへの試合参加も始めた。暑い時期の自主練習は木陰のある奥市公園へ活動場所を移動した。2011年より昼の自主練習は7月から9月までは奥市公園とした。

クラブチーム発足に向け有志の会合を繰り返した。2012年5月に「エキップ西川」の名でペタンククラブチームを発足させた。会員12名であった。6月1日クラブ規則を制定、マークも作られた。7月にはクラブ通信1号発行、11月には主催の競技会も行われた。2013年3月14日第1回ポワンテ・ティールコンテスト、4月11日第1回の総会が「ほのか」で行われた。12月第1日曜午前に最初のデモンストラシオンを行った。

2014年3月2日デモンストラシオンを三光荘下で、4月5月は弓之町公園でと、市内各所の公園などで宣伝活動練習を始め、2015年2月より毎月第2土曜と決めた。通信ではペタンクのカルタ言葉作りなど、ペタンクの技術

やルールの確認もすすめる企画もされた。2016年7月14日デモンストラシオンにかえて「ちょい飲みペタンクのタベ」を行った。12月29日「投げ納め」を、2017年1月5日には「初投げ」を始めた。中止していたデモンストラシオンの替わりとして誘いのあった「三熱小学校区ペタンク」の第2第4土曜昼の活動に協賛参加を5月13日より始めた。6月19日より毎週月曜日午前に下石井公園でクラブ有志の練習を始めることとした。なかなか人が集まらず2人3人のことが多かったがだんだんと参加者が増えてきた。

2018年7月26日「ペタンクのつどい10年記念レク大会」が行われた。公園使用をはっきりさせるため、10月より岡山市に公園使用届を「エキップ西川」の名で申請することにした。2019年熱中症対策として「つどい」の時間が9時から11時になり、サマータイムと呼ぶことになった。2020年財団合併に伴い、3月26日が財団主催の「つどい」最終日となった。4月9日より実行委員会で「つどい」を引き継ぐこととなった。COVID19の流行により緊急事態宣言で活動が制約される年になった。

2021年三熱小学校建て替えて第2第4土曜の昼の活動が停止。替わって有志で奥市公園での活動となる。2022年5月奥市公園での活動終了。6月より毎週土曜日午前に弓之町公園でデモンストラシオンを再開することとした。2023年市役所公園管理課より下田町公園利用を提案され、ペタンク活動のホームグラウンドとすることになった。

以上、「エキップ西川」発足と活動をまとめた。個人の活躍の様子などは他の方の記録発表に委ねたい。現在39名の「エキップ西川ペタンククラブ」が楽しく且つお互いがフラットな関係で主体的にペタンクが出来る集まりとして続くものであることを願い、今までの紆余曲折もある経緯をまとめた。（文責k）